

令和5年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	NPO 法人 Yamagata1		
事業名	VR でスポーツを楽しもう。		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 県政課題： 10 デジタル技術を活用した障がい者の社会参加の促進		
団体の 所在市町村	東根市	事業費	326,822 円
		うち助成金額	324,262 円
事業実施期間	令和5年6月6日～令和6年2月29日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

障がいのある方や特性のある方が、VRでスポーツを観戦し、臨場感あふれる体験をすることでVRの楽しさを知るきっかけやスポーツを楽しむきっかけを作る。また体験会では、障がいのある方が利用する生活介護事業所の協力も得て、障がいのある方の意見を聞き、アンケート作りなどに参画してもらうことにより、事業を通じて当法人スタッフ他協力者等との関わりができるなど、協働、社会参加の促進につながることを目的とする。

（実施内容）

1. VRスポーツを体験してもらうイベントを開催

（1） スポーツのVR映像2本作成 ・水泳大会等障がい者スポーツを調査、見学を行い、撮影種目を決定するまでに、障がいのある方に聞き取り検討を重ねた。スポーツ競技の撮影は肖像権の問題や競技の選手に負担をかけるなど課題を認識。そのため映像を見ながら風景とともに楽しめるシーカヤックとスキーを360度カメラで撮影し、VR映像を作成した。

（2） 9月14日、30日に準備、リハーサルを行い、10月23日に（1）のシーカヤック映像をVRゴーグルで見る体験会を、障がい者の通う生活介護事業所にて行い16名が参加した。映像の時間を数パターン用意したがシーカヤックは単調のため、テストで撮影した水上バイクの映像も提供した。終了後は体験者やサポートしたスタッフの方へのアンケートを実施。

（3） （1）のスキー映像でVRスポーツ体験会を1月25日に実施（参加者14名）

（2）での意見や反省点をもとに、待ち時間解消のためVRゴーグルで見る映像を、スクリーンやスタッフのスマホにミラーリング（同じものを映す）し、当スタッフや職員がサポートしやすいようにした。



【10月23日VRスポーツ体験会の様子】



【10月23日VRスポーツ体験会の様子】

事業の成果

当初イベント用に準備した会場に障がいのある方に来てもらうことを想定していたが、送迎の問題や知らない人との接触に心理的負担を持つ場合があることを知り、難しいと判断した。障がい者が通う施設に出向く形で、施設側と意見を交わしながらイベントを行い、当法人にとっても学びが多かった。障がい者スポーツやVRスポーツのゲーム版等様々調べ、障がいの種類や程度によって、希望することも負担感が度合も人それぞれ違うため、競技や動きを伴わない映像を見る（VRゴーグルで体感する）こととした。一人一人に寄り添いながら、職員さんのサポートとともにVRスポーツを楽しむという場を提供できたことがよかった。参加してくれた方から「楽しめた」、「また来てほしい」等の声をもらった。

今後の展望

雪山を知っている方には、スキー映像が懐かしいものとして楽しんでいただくことができた。しかし、訪れたことがない、経験したことがない方もいるため、スポーツ以外の映像も用意したほうがよいと感じた。360度見渡して、その映像の場にいるような感覚やスピード感も体感してもらえるこのような場を、県内の障がい者生活介護施設などを訪問し提供していきたい。映像の種類、ゴーグルの調整、体を動かす体験など今後考え準備することは多いが、障がいのある方にとってよい機会を各施設の方と話し合いながら進められたらと思う。



【1月25日VRスポーツ体験会の様子】



【1月25日VRスポーツ体験会の様子】



【1月25日VRスポーツ体験会の様子】

団体概要

団体名 NPO法人Yamagata1

代表者 代表理事 加藤清輝

URL <https://www.yamagata1.jp/>

mail mail@yamagata1.org